

情報公開文書

研究の名称	安静時脳波解析によるうつ病の検出および精神病発症リスク状態の診断的・機能的転機予測に関する研究
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 神経精神科 講師 樋口悠子
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>富山大学附属病院 神経精神科へ通院・入院したことがある患者さん、あるいは健常協力者で、過去に当施設にて臨床研究「精神病性障害関連遺伝子の解析研究」を受けられ、データの2次利用に同意されている方。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>うつ病などの精神疾患は、客観的な尺度での診断が困難であるのが現状です。そこで、脳波からこのような疾患の特徴を捉えることで、うつ病の判別を行うことを目的としています。</p> <p>また、精神病発症リスク状態（以下、ARMS）の患者さんにおいては、のちに統合失調症などの精神病性障害に移行した方としなかった方の比較を行います。また、今後の社会機能が良好であった方とそうでなかった方についても比較します。このことにより、予後の予測に貢献でき、病初期から適切な支援を選択するうえで重要な情報を得ることが出来ると考えています。</p> <p>そこで、ベック抑うつ尺度によるうつ状態の基準を満たした患者さん、初回エピソード精神病と診断された患者さん、また、CAARMS（発症リスクのある精神状態の包括的評価）によるARMSの基準を満たした患者さんに今研究へのご協力をお願いしています。比較対照として、健常協力者の方々についても同様にご協力をお願いしています。</p> <p>本研究を通して蓄積されたデータは、個人情報保護に十分留意しながら、専門委員会による審査と使用承認を得た研究者間で共有されます。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>過去に当科の検査で得た脳波、ベック抑うつ尺度、CAARMSおよび予後に関する情報などを本研究に二次的に利用させていただきます。</p> <p>なお、本研究で使われるデータは、個人情報が匿名化されており、厳重な管理下において研究に活用されます。</p> <p>【研究期間】</p> <p>2022年7月19日から2025年3月31日まで。</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>研究成果は、個人を特定できないようにした上で、学会や学術雑誌やホームページ等で公表する予定です。</p>

<p>研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)</p>	<p>共同研究機関の間で上記のベック抑うつ尺度, 脳波データ, CAARMS および予後に関する情報などを共有いたします。</p> <p>共同研究機関にデータを提供する際には, 個人が特定できないように匿名化し, パスワードをかけた電子ファイルを用いて電子的配信等の方法で提供します。対応表は, 当科の研究責任者が保管・管理します。</p>
<p>研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名</p>	<p>富山大学附属病院 神経精神科 講師 樋口悠子</p> <p>株式会社脳機能研究所 研究本部長 小杉幸夫</p>
<p>研究資料の開示</p>	<p>研究対象者, 親族等関係者のご希望により, 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
<p>試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)</p>	<p>富山大学附属病院 神経精神科 講師 樋口悠子</p>
<p>研究対象者, 親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出, 研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 : 076 (434) 7323 FAX : 076 (434) 5030 担当者所属 : 富山大学附属病院 神経精神科 担当者氏名 : 樋口悠子</p>

作成 2022. 1. 27
第2版 2022. 7. 14
第3版 2024. 3. 25